



カトリック札幌教区正義と平和協議会

学習会 (講演とワークショップ・分かち合い)

今こそ、
考えましょう
!

講師: 柳川朋毅さん イエズス会 社会司牧センター

カトリック教会はなぜ 死刑廃止を目指すのか

～「すべてのいのちを守るため」に私たちができること～

2023年 1月21日(土) 13:30~16:30
開場: 13:00

会場: 札幌教区カトリックセンター
札幌市中央区北1条東6丁目

オンライン 同時配信
インターネット通信

参加費無料

柳川さんからのメッセージ

現代のカトリック教会は、死刑を「人格の不可侵性と尊厳への攻撃」とみなし、福音の光のもとに許容できない刑罰だと教えています(『カトリック教会のカテキズム』2267)。世界では死刑を廃止する国が年々増えていく中、日本は依然として毎年のように死刑を執行し続けている数少ない国の一つです。

国内外から多くの非難を受けながらも日本が死刑制度を存置する理由として、「国民世論」の大半が死刑を「容認」しているからだと説明されます。けれどもそれは果たして本当でしょうか? 日本はなぜ死刑を廃止しないのか、そしてカトリック教会はなぜ死刑廃止を目指すのかを学び、日本のカトリック教会として「すべてのいのちを守るため」に私たちができることを一緒に考えたいと思います。



柳川朋毅(やながわともき)さん

イエズス会社会司牧センタースタッフ。上智大学および大学院で神学・聖書学を学ぶ。聖書研究、中高教員を経て2014年より現職。

日本カトリック正義と平和協議会「死刑廃止を求める部会」で事務を担当。キリスト者死刑廃止ネットワーク共同世話人、「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク副代表、死刑をなくそう市民会議共同代表世話人などを務め、諸教派・諸宗教、市民団体らと共に連帯しながら死刑廃止に取り組んでいる。

写真: 韓国平和放送のウェブサイトから

参加の方法は、裏面をご覧ください